

令和7年4月22日

## 県内における麻疹患者の発生について

～麻疹と思ったら、事前に医療機関へ連絡して受診してください～

### 1 概要

令和7年4月21日（月）、臼杵市内の医療機関から中部保健所に麻疹患者発生の届出がありました。

県内では4年以来3年ぶりの届出です。

単位（人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
全国	744	10	6	6	28	45	66 <sup>*1</sup>
大分県	1	0	0	1	0	0	1 <sup>*2</sup>

\*1 2025年第14週（3/31～4/6まで）速報値、\*2 2025年4月21日時点

### 2 患者の状況等

<診断> 麻疹

<患者> 臼杵市在住の生徒（女性）

<症状> 発熱、咳、結膜充血、発しん

<経過>

3月26日（水）

（

ベトナムと韓国に旅行

4月5日（土）

4月11日（金）

発熱

4月14日（月）

臼杵市内のA医療機関を受診し、同市内のB医療機関へ紹介受診

4月15日（火）

B医療機関を再受診し、入院

4月17日（木）

発熱が継続し、発しん及び頸部リンパ節の腫れが出現

4月21日（月）

県衛生環境研究センターで遺伝子検査を実施したところ、麻疹ウイルス陽性が判明

### 3 保健所の対応

- ・関係者による対策会議を開催し、現状や今後の方針について協議しました。
- ・患者に行動の自粛を要請しました。
- ・患者の接触者調査を実施し、接触者に健康観察を要請しました。また、健康観察中に発熱・発しん等の症状が出た場合には、最寄りの保健所に連絡するよう依頼しました。
- ・患者が利用した公共交通機関を利用した方への注意喚起を行うことと決定しました。

## 4 公共交通機関等の利用状況

公共交通機関の利用状況は下記のとおりです。

4月11日（金）日豊本線（下り）：臼杵駅7：56着の便の1両目に乗車

4月11日（金）日豊本線（上り）：臼杵駅13：40発、14：14発、14：41発

上記3便のいずれかの1両目に乗車

上記と同じ日時、同じ車両を利用した方で、利用日から21日以内（5月2日まで）に発熱、発しん等、麻しんを疑う症状が現れた場合は、速やかに最寄りの保健所にご相談ください。

医療機関を受診する際は、麻しんの疑いがあることの事前連絡及びマスクの着用を徹底いただくとともに、周囲の方へ感染を拡げないよう、公共交通機関の利用を避けてください。

※ 周囲を感染させる可能性のある期間内に、患者が公共交通機関を利用し、不特定多数の方と接触した可能性が否定できないため、広く情報提供するものです。

## 5 麻しんについて

麻しんは、感染力が非常に強い感染症で、麻しんウイルスの感染によって引き起こされます。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、10～12日の潜伏期を経て、発熱、せき、全身性の発しん、結膜充血等の症状が出現します。また、肺炎や脳炎などの合併症を引き起こすこともあります。麻しんに対する免疫がない方が患者と接触すると、ほとんどの方が麻しんにかかります。

麻しん患者と接触した方は、発病までの期間を考慮し、接触後最大21日間の健康観察が必要です。症状や経過から麻しんが疑われる場合は、事前に医療機関にその旨を連絡し、マスクの着用を徹底いただくとともに、周囲の方へ感染を拡げないよう、公共交通機関の利用を避けてください。

なお、麻しんに対する免疫は持っているものの免疫が不十分な方が感染した場合、軽症の麻しんを発症することがあり、修飾麻しんと呼ばれています。これは潜伏期間の延長、高熱が出ない、発熱期間が短いなどの特徴が見られ、典型的な麻しんに比べて、感染力は弱いと言われています。

## 6 感染予防対策について

麻しんは空気感染するため、手洗いやマスクのみでは防ぐことができません。予防接種によってあらかじめ麻しんに対する免疫を獲得しておくことが最も有効な予防方法です。

定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校入学前の1年間の幼児）がまだの方は、予防接種を受けましょう。予防接種について、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

## 7 海外へ渡航される方へ

自身の予防接種歴を確認し、接種を受けていない予防接種がある場合は、予防接種を受けることを検討してください。

帰国後に発熱・発しん等の症状が出現した場合は、必ず事前に医療機関へ連絡をし、マスクを着用して受診してください。なお、移動の際は、周囲の方への感染を拡げないため、公共交通機関の利用は避けてください。

**【報道機関の皆様へお願い】**

今回の情報提供は、広く麻しんに対する啓発と注意喚起を目的に行うものです。

報道機関各位におかれましては、プライバシー保護の観点から、患者及び患者家族等について、特定されないことがないよう、格段のご配慮をお願いいたします。